



笠懸小学校は今年も思いやりも群馬県一を目指します!

やさしく
たたく
しこたく
ましく



笠懸小学校

学校だより No.48 2023.3.23

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

ご卒業おめでとうございます

本日3月23日(木)、令和4年度笠懸小学校の卒業式が厳かに行われました。卒業証書授与の際の引きしまった表情、呼びかけでの一生懸命な声、感動的な合唱、それらすべての姿が素晴らしいものでした。卒業生の皆さんには、小学校で培ってきたことを基に、夢に向かってチャレンジしていくことを期待しています。

下の写真はALTのラリー先生が卒業生の将来の夢について、英語で紹介してくれたものです。写真が小さくて見づらいと思いますが、高解像度で掲載しました。拡大表示していただければ、ある程度一人一人の顔が見られると思います。

迷わずゆけよ!ゆけばわかるさ!



また、式に参加した5年生の皆さんも、卒業生へのお祝いの気持ちがしっかり詰まった立派な態度でした。来年度はいよいよ、自分たちが最上級生になり、学校のリーダーとなっていくのだなという気持ちも、より高まったのではないのでしょうか。

以下に、式中に述べた式辞を掲載したいと思います。文章としてここに載せるのは、おこがましいかもしれませんが、卒業生及び保護者の方々への思いとして受け取っていただければ幸いです。

式辞

例年より少し早く桜が開花し、本格的な春の到来を感じるこのよき日、みどり市立笠懸小学校、令和四年度卒業式を、みどり市教育委員会教育長職務代理者 金子祐次郎様、みどり市議会 副議長 杉山 英行 様、みどり市議会議員 金子 實 様、笠懸小学校PTA会長 山崎成二様をはじめとする本部役員の皆様、そして多くの保護者の皆様のご臨席のもとに、挙行できますことを心より感謝申し上げます。



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。常に礼儀正しく、しかも温かいコミュニケーションがとれる皆さんは、笠小の誇りでした。「思いやり群馬県一」をキャッチフレーズに毎日の生活を送ってきましたが、皆さんの思いやりあふれる言動は、学校全体をよりよい方向に向かわせてくれたと思っています。本当にありがとう。

また、今年度は、「三年ぶりに」という言葉がたくさん使われました。笠小でも、三年ぶりの宿泊を伴う修学旅行、三年ぶりの全校での運動会、三年ぶりの水泳、陸上記録会などがそれにあたります。今となっては、できたことが当たり前のように思えますが、実施する前は様々な不安に悩んだこともありましたが、しかし、実行に移せたのは、皆さんの思いや頑張る姿があったからです。笠小の六年生であればきっとできる、大丈夫という確信をもてたからこそ実行に移すことができたのです。そして、これら全てのことを無事に大成功で終えられたのは、皆さんのおかげです。

さらに、これらの行事だけでなく、カサヒマールを誕生させた児童会活動においても、全校が集まる全校集会においても、暑い日も寒い日もあった登下校においても、その中心にいて、下級生をしっかりと導いてくれたのも皆さんでした。

分離して初めての今年度、先生方と力を合わせ、新しい笠小を創るとともに、新型コロナウイルスの影響を乗り越えるための原動力となった自分に、そしてこの学年全体に誇りを持ってください。

このような素晴らしい卒業生の皆さんに、校長として一つだけ願いを伝えたいと思います。それは、

「主体的な生き方をしてほしい」

ということです。言い換えれば、「何かをさせられている」とか「仕方がなく何かをする」という生き方ではなく、自分で決め、決めたことはしっかりやり通せるような人になってほしいということです。もちろん、人として正しい生き方であることが前提となりますが、自分で決めたことに責任をもち、主体的な生き方を目指してください。

そのために、必要なことは二つです。一つは、「明確な目標をもっていること」、もう一つは、「自分はきっとできると信じていること」です。この二つのことを心に留め、夢を実現させてほしいと願っています。

保護者の皆様、これまで大切に育ててこられたお子様のご卒業おめでとうございます。この六年間は、語り尽くせぬご心配、ご苦勞もあったことと思いますが、お子様の最大の理解者である皆様の愛情と情熱が実を結び、今日を迎えられたことを改めてお祝い申し上げます。また、新生笠小となった本校の教育活動に、深いご理解と多大なるご支援を賜りましたことに教職員を代表して心より御礼申し上げます。

笠小には、卒業生の皆さんの頑張りがあり、そこから様々な感動が生まれました。その感動は先生達も巻き込み、皆さんの頑張りに応えようと精一杯頑張ってきました。そして、それらが互いに呼応しあうように作用して、素晴らしい毎日を創り出すことができたのだと思います。そのような素晴らしい皆さんを、教職員一同、いつまでもいつまでも応援しています。

卒業生七十七人の将来が光に満ちたものであることをお祈りし、式辞といたします。

令和五年三月二十三日
みどり市立笠懸小学校長 神山 亮一

